

すいかみたい！ ～あさがおの種まき～

8日（金）の分散登校の日、生活科の学習で「あさがおの種まき」をしました。

まず、あさがおの種を手にした子どもたちに「何色かな？」「どんな形？」と問いかけ、種の観察をさせました。

手のひらの種をじっくり見てみると、丸いと思っていた種がそうでないことに気づき、「三角になってる！」「すいかみたい！」と口々に言っていました。

そして、観察をもとに種の絵をかき、あさがおへのメッセージを書きました。休校のため、十分な平仮名の練習ができていませんが、「はやくおおきくなってね。」「きれいにさいてね。」などと、あさがおへ思いを込めて一生懸命書いていました。

次は、いよいよ種まきです。あさがおを育てるのに必要なものを考え、道具の準備をし、自分の植木鉢に種をまきます。

ここでも、土に肥料をまぜたり、指で種をまく穴をあけたり、種を穴に入れたりとすることがたくさんありましたが、一つ一つ丁寧に作業を進めることができました。

最後に水をかけて、種まき終了です。30分程の短い時間でしたが、それぞれの班で全員が学習を進めることができました。

これから芽が出て、葉が増えて花が咲き、枯れて種ができるまでの長い期間の学習になります。しっかりお世話したり観察したりできるように励ましていきます。

※休校中は、家庭でお世話や観察をお願いすることになります。

お手数をおかけしますが、お子さんへの声かけや助言をお願いいたします。



↑ 【あさがおさん、げんきにぞだってね！】



↑ 【指であけた土のお部屋に、種を一つずつ入れます】



↑ 【全員の「観察カード」を掲示しました】